



## 2019年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月1日

上場会社名 株式会社電通国際情報サービス  
 コード番号 4812 URL <https://www.isid.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 名和 亮一  
 (氏名) 酒井 次郎  
 TEL 03-6713-6160

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第3四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	72,963	12.9	7,602	34.3	7,539	32.9	5,160	36.2
2018年12月期第3四半期	64,625	9.1	5,662	70.7	5,675	65.5	3,788	37.3

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 5,029百万円 (37.1%) 2018年12月期第3四半期 3,669百万円 (30.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	158.38	
2018年12月期第3四半期	116.28	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第3四半期	85,176	53,702	63.0
2018年12月期	80,273	50,966	63.5

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 53,677百万円 2018年12月期 50,935百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		28.00		35.00	63.00
2019年12月期		35.00			
2019年12月期(予想)				35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	93,000	2.2	8,500	3.2	8,408	2.6	5,683	9.6	174.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期3Q	32,591,240 株	2018年12月期	32,591,240 株
期末自己株式数	2019年12月期3Q	8,843 株	2018年12月期	8,663 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期3Q	32,582,513 株	2018年12月期3Q	32,582,656 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は4ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

単位：百万円

	2018年12月期 第3四半期累計	2019年12月期 第3四半期累計	増減	前年同期比
売上高	64,625	72,963	+8,338	112.9%
営業利益	5,662	7,602	+1,940	134.3%
営業利益率	8.8%	10.4%	+1.6p	—
経常利益	5,675	7,539	+1,864	132.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,788	5,160	+1,372	136.2%

当第3四半期連結累計期間(2019年1月1日～2019年9月30日)におけるわが国経済は、通商問題の動向や中国経済の減速等から輸出や生産に弱さがみられたものの、企業収益や設備投資は堅調に推移しました。情報サービス産業におきましても、企業の情報化投資への需要が継続し、事業環境は堅調に推移しました。

かかる状況の下、当社グループは、当連結会計年度より企業理念を一新するとともに、3ヵ年を対象とした新たな中期経営計画「ISID X(Cross) Innovation 2021」をスタートさせました。基本方針として「主力事業の進化」「新規事業の創出」「事業基盤の革新」を掲げ、既存事業の強化に加え、テクノロジー、業界、企業などの枠を超えた新しい価値の協創に向けた取り組みを推進することにより、2021年12月期の定量目標(連結売上高1,100億円、連結営業利益110億円、連結営業利益率10.0%、ROE12.5%)の達成を目指しています。

当第3四半期連結累計期間は、売上高72,963百万円(前年同期比112.9%)、営業利益7,602百万円(同134.3%)、経常利益7,539百万円(同132.9%)、親会社株主に帰属する四半期純利益5,160百万円(同136.2%)となり、第3四半期累計としていずれも過去最高の業績を達成しました。

売上高については、企業や公共機関のIT投資需要の高まりを受け、すべての事業セグメントにおいて、前年同期比で増収となりました。利益面につきましても、販売費及び一般管理費が増加したものの、増収の効果により、前年同期比で大幅な増益となりました。

事業セグメント別の売上高、営業利益および営業の状況は以下のとおりです。

■事業セグメント別売上高および営業利益

単位：百万円

事業セグメント	2018年12月期 第3四半期累計			2019年12月期 第3四半期累計			増減額	
	売上高	営業利益	営業 利益率	売上高	営業利益	営業 利益率	売上高	営業利益
金融ソリューション	16,330	1,233	7.6%	18,409	1,301	7.1%	+2,079	+68
ビジネスソリューション	11,732	356	3.0%	14,245	1,658	11.6%	+2,513	+1,302
製造ソリューション	21,645	1,873	8.7%	21,982	1,472	6.7%	+337	△401
コミュニケーションIT	14,916	2,198	14.7%	18,326	3,170	17.3%	+3,410	+972
合計	64,625	5,662	8.8%	72,963	7,602	10.4%	+8,338	+1,940

※第1四半期連結会計期間より、「エンジニアリングソリューション」としていた報告セグメント名称を「製造ソリューション」に変更しております

■事業セグメント別営業の状況

金融ソリューション

金融機関をはじめ企業における各種金融業務を支援するITソリューションの提供を主たる事業としています。

当第3四半期連結累計期間は、政府系金融機関および事業会社向けの案件が拡大したことから、増収となりました。利益につきましては、一部のシステム開発案件において外注費を中心に原価が増加したものの、増収の効果により増益となりました。

ビジネスソリューション

基幹システムや経営・人事管理分野を対象としたITソリューションの提供を主たる事業としています。

当第3四半期連結累計期間は、人事管理ソリューション「POSITIVE」、連結会計ソリューション「STRAVIS」および会計/ERP分野におけるソフトウェアの販売・導入が拡大したことから、増収増益となりました。

製造ソリューション

製造業の製品開発/製造/販売/保守にわたる製品ライフサイクル全般を対象とするITソリューションの提供を主たる事業としています。

当第3四半期連結累計期間は、製品開発プロセスの変革を支援するコンサルティングサービスに加え、CAE (Computer Aided Engineering) およびスマートファクトリー領域におけるソフトウェアの販売・導入が拡大したことから、増収となりました。利益につきましては、人員増により人件費が増加したことから、減益となりました。

コミュニケーションIT

電通グループに対する基幹システムの提供および電通グループとの協業によるITソリューションの提供を主たる事業としています。

当第3四半期連結累計期間は、電通グループの基幹システム領域における大型のシステム更改案件が始まったことに加え、電通グループとの協業によるビジネスが公共機関向けを中心に大幅に拡大したことから、増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して4,903百万円増加し85,176百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末時点の売上債権の回収が進んだことによる受取手形及び売掛金の減少、預け金の増加があったほか、仕掛品の増加、サブスクリプション型サービス拡大等による前払レンタル料を中心とした前渡金の増加等により、前連結会計年度末と比較して2,116百万円増加し、66,784百万円となりました。固定資産は、資本提携による関係会社株式の取得等により、前連結会計年度末と比較して2,788百万円増加し、18,392百万円となりました。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における総負債は、前連結会計年度末と比較して2,167百万円増加し、31,474百万円となりました。流動負債は、法人税・消費税等の納付により減少はあったものの、仕入債務の増加、前受レンタル料・保守料を中心とした前受金の増加を主因として、前連結会計年度末と比較して1,983百万円増加し、28,534百万円となりました。固定負債は、長期リース債務、資産除去債務の増加等により、前連結会計年度末と比較して184百万円増加し、2,939百万円となりました。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、剰余金の配当があったものの、主に当社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加した結果、前連結会計年度末と比較して2,736百万円増加し、53,702百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間の業績は期初計画を上回る水準で推移しているものの、第4四半期の動向を精査中であることから、現時点では2019年2月8日に発表した通期業績予想を据え置きます。今後の経営環境や業績動向等を踏まえ、修正が必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

※予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,878	2,725
受取手形及び売掛金	19,958	16,656
商品及び製品	96	109
仕掛品	1,529	2,852
原材料及び貯蔵品	25	22
前渡金	8,080	10,302
預け金	31,054	33,037
その他	1,047	1,088
貸倒引当金	△1	△10
流動資産合計	64,668	66,784
固定資産		
有形固定資産	4,173	4,546
無形固定資産	2,956	3,101
投資その他の資産		
投資その他の資産	8,476	10,745
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	8,475	10,744
固定資産合計	15,604	18,392
資産合計	80,273	85,176
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,839	7,895
未払法人税等	2,314	1,490
前受金	8,735	10,395
受注損失引当金	523	550
その他	8,138	8,202
流動負債合計	26,551	28,534
固定負債		
退職給付に係る負債	22	30
資産除去債務	872	945
その他	1,860	1,963
固定負債合計	2,755	2,939
負債合計	29,307	31,474

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,180	8,180
資本剰余金	15,285	15,285
利益剰余金	27,292	30,172
自己株式	△29	△30
株主資本合計	50,729	53,608
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29	38
為替換算調整勘定	176	29
その他の包括利益累計額合計	205	68
非支配株主持分	30	25
純資産合計	50,966	53,702
負債純資産合計	80,273	85,176



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
売上高	64,625	72,963
売上原価	43,287	48,817
売上総利益	21,337	24,146
販売費及び一般管理費	15,675	16,543
営業利益	5,662	7,602
営業外収益		
受取利息及び配当金	33	30
保険配当金	48	62
雑収入	59	32
営業外収益合計	141	125
営業外費用		
支払利息	17	23
持分法による投資損失	21	125
為替差損	35	15
投資事業組合運用損	31	16
雑損失	21	7
営業外費用合計	128	187
経常利益	5,675	7,539
特別利益		
投資有価証券売却益	—	265
特別利益合計	—	265
特別損失		
投資有価証券評価損	—	66
事業整理損	—	59
特別損失合計	—	126
税金等調整前四半期純利益	5,675	7,679
法人税、住民税及び事業税	2,452	2,848
法人税等調整額	△575	△336
法人税等合計	1,876	2,512
四半期純利益	3,798	5,167
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,788	5,160

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	3,798	5,167
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27	8
為替換算調整勘定	△102	△146
その他の包括利益合計	△129	△137
四半期包括利益	3,669	5,029
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,659	5,022
非支配株主に係る四半期包括利益	9	7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年1月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	金融 ソリューション	ビジネス ソリューション	製造 ソリューション	コミュニ ケーション IT	合計
売上高					
外部顧客への売上高	16,330	11,732	21,645	14,916	64,625
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	16,330	11,732	21,645	14,916	64,625
セグメント利益	1,233	356	1,873	2,198	5,662

(注) セグメント利益の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	金融 ソリューション	ビジネス ソリューション	製造 ソリューション	コミュニ ケーション IT	合計
売上高					
外部顧客への売上高	18,409	14,245	21,982	18,326	72,963
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	18,409	14,245	21,982	18,326	72,963
セグメント利益	1,301	1,658	1,472	3,170	7,602

(注) 1. セグメント利益の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

2. 第1四半期連結会計期間より、「エンジニアリングソリューション」としていた報告セグメント名称を「製造ソリューション」に変更しております。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。なお、前第3四半期連結累計期間の報告セグメントについても、変更後の名称で表示しております。